

業 務 等 質 問 書

提出日：令和8年4月6日

発注機関名	人事課	公 告 日	令和8年3月23日
業 務 名 業 務 箇 所 名	令和8年度長野県業務改革（BPR）人材育成事業業務 長野県庁内会議室ほか		
質問内容	<p>・昨年度、同等の内容の研修を実施している場合、その成果及び成果の測定方法についてご教示ください。</p> <p>・令和7年度から集中改革期間と定められていると思いますが、昨年度の具体的な成果と成果の測定方法についてご教示ください。</p> <p>※10年後（令和17年）の職員数の見込みを踏まえ、年間 19 万時間以上（本県職員約6,000 人の年間作業時間の約 1.8%）と定めた目標の達成状況</p>		

回答日：令和8年4月15日

回 答	<p>【昨年度の研修実施有無とその成果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は階層別（幹部層・管理職層・一般職員層）の研修を実施し、計15回・195人が参加しました。 ・研修のワークショップで取り上げた複数業務を予算化・事業化しました。また研修前後でBPRに対する意識変化をアンケートにて回収・分析したところ、期待度の点数として幹部向けは+1.2ポイント、管理職向けは+1.8ポイント、一般職員向けは+1.7ポイントとなりました（いずれも10点満点）。 <p>【昨年度のBPR成果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はBPRを本格的に開始した年度であり、複数の業務にてBPRを検討・試行し、横展開可能な施策として6件創出しました。これらはR8年度に実装することで業務削減効果としての成果創出を想定しています。 ・そのほかにも、RPAや業務見直しにより業務個別で課題解決をした事例が多数あります。 ・効果測定の方法としては、ヒアリング等を中心に、従前の業務フローと改革後のフローについて確認し、時間等を比較することで削減効果を測定することを想定しています。
-----	---